

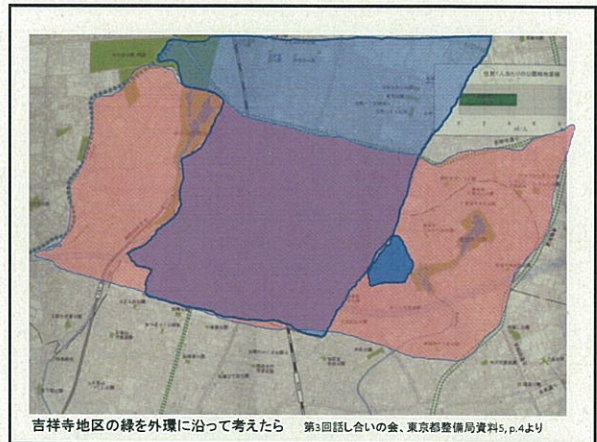
第3回 武蔵野市における
地上部街路に関する話し合いの会

第3回武蔵野市外環-2話し合いの会提出資料
(2010.01.26)

武蔵野市吉祥寺東町南町 データ地図

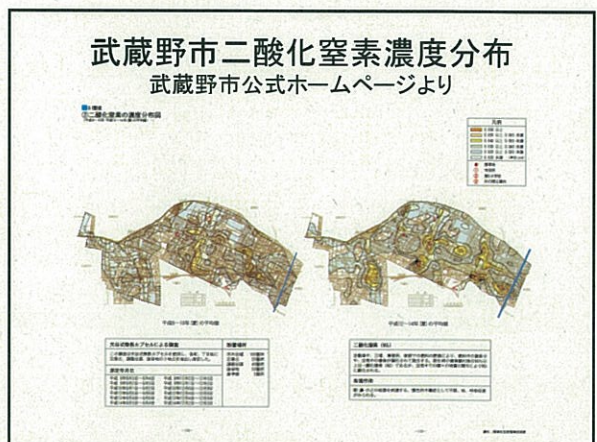
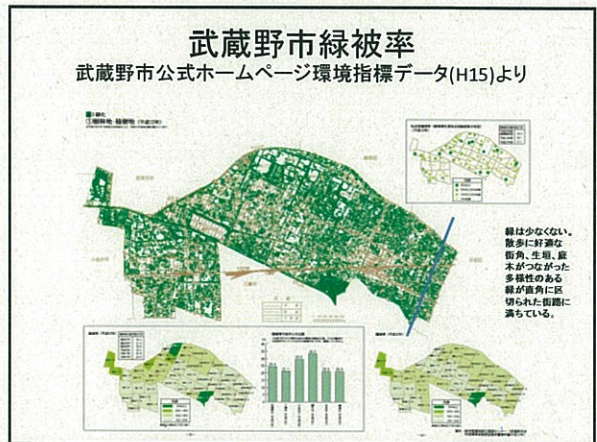
提出者 委員 古谷 圭一

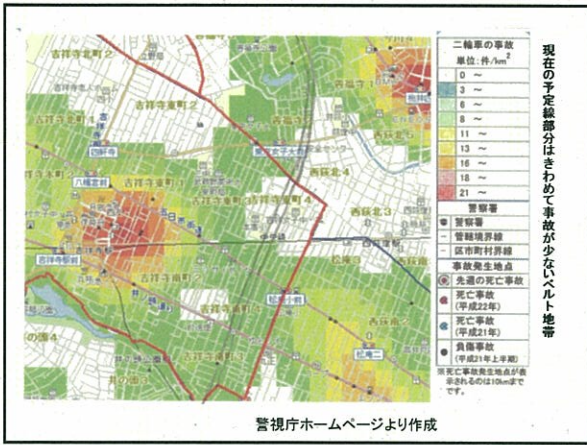
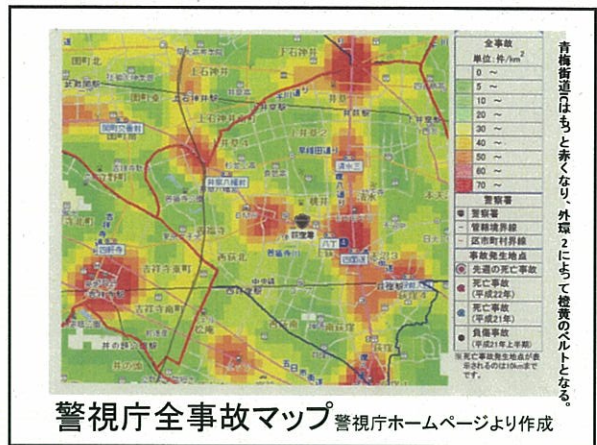
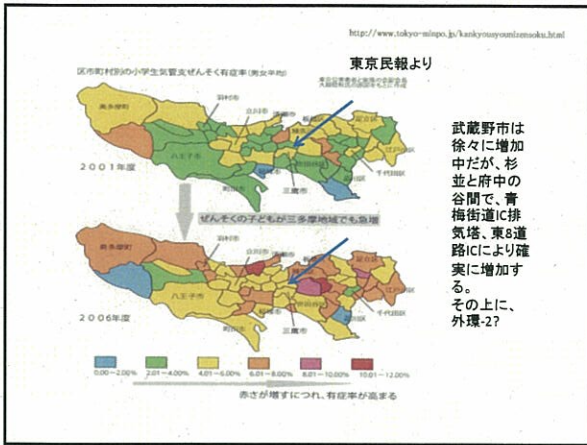
警視庁ホームページ交通事故犯罪マップ(平成21年度上半期)
武蔵野市公式ホームページ地域生活環境指標データ
武蔵野市わたしの便利帳H21版
東京民報(08.11.23)より作成

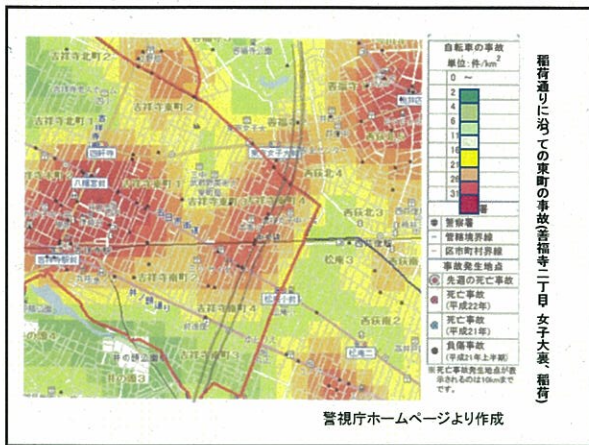


法政跡マンション広告から

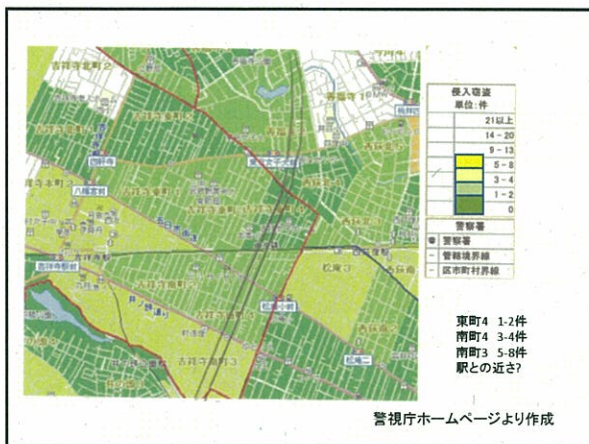
法政跡マンションの魅力を伝えるための広告。写真やテキストで物件の特徴や周辺環境を説明している。







稲荷通りに沿っての東町の事故(稲荷寺二丁目女子大裏)稲荷



「武蔵野地域に関する現状・課題データについて」(第3回検討会資料5)に関する疑問

- 広域的環境(p.1-p.5)

東京のコンクリート化を進めているのは道路建設
本来の東京緑地計画は、住宅内緑地を前提
道路買収から建設までの青シートは緑の徹底的破壊
外環地上部道路を作ることはCO₂削減ですか?
- 防災(p.6-p.8)

出火危険度の低いベルト地帯の道路建設計画?
延焼率の前提には、阪神淡路震災のデータか、それとも、新建築基準法による建物がすでに50%以上となっていて、10年後にはさらに向上するデータが前提か?
すでに、ほとんどの住宅火災は、類延焼は少なくなっているのに。
震災時の避難路は整然とした4m以上の基盤状道路
地震時の武蔵野面上の住宅全壊率は、関東大震災時に数%だった。沖積層上の本所は15.6%、深川は8.9%
未着工の街登道路の整備こそ必要

「武蔵野地域に関する現状・課題データについて」
(第3回検討会資料5)に関する疑問

・ 交通(p.9-p.11)

既存都道の拡張が遅れている都市計画道路(三鷹-保谷線、吉祥寺通り練馬区内、および三鷹市内)をそのままにしておいて、南北方向の整備が進んでいないので、新しく完成した住宅地を破壊する理由にはならない。
宮本小路、稲荷通りの通過は、上記理由のほかにも、青橋街道の建設によりさらに激化する
外環-2の建設により本宿小学校、武蔵野第三中学校、武蔵野第三小学校の通学路は分断される。
杉並区西荻窪駅付近の道路未整備がこれに拍車をかけている。(井草通り以南)

・ 暮らし

吉祥寺東部地区から市役所へのダイヤクトの公共交通がない。これも、青橋街道の整備、女子大通りの整備がされていないことにもよる。
JR駅に直結しない外環-2計画では上記道路の渋滞を助長する危険性が多い。
外環-2計画により東町、南町の東部は病院、医院、薬局などが少ない孤立地域となる。
現在の地域の安全性は、きわめて高く、都内有数の地位を占めている。
一つしかない幼稚園、桜の実幼稚園が予定線にある。